バックオーライ BackAllright C-06B 取付・取扱説明書

MITSUBA

OZ-001-011-A

このたびは、バックオーライＣ－０６Ｂをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本書を必ずお読み頂き、正しくご使用下さい。お読みになった後も、本書は必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管して下さい。

☆本品を譲渡される場合や別のお車に取り付け直す場合も、本書を必ず商品に付帯させ、お使いになる方がいつでも見られるようにして下さい。

お取り付け等、技術的なお問い合わせ窓口
株式会社ミツバサンコーワ 技術サービス
〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原3546-1
☎.0277-72-4588

1. 安全上の注意事項

記号と意味は次のようになっております。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定されることを意味します。また、商品を損傷、故障させる恐れがあることを意味します。

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠警告

●バックオーライＣ－０６Ｂは、運転の補助装置として後方障害物の存在をブザーとＬＥＤインジケーターで知らせるもので、運転者の注意義務を軽減するものではありません。バックする際は、後方、周囲の安全を十分確認して下さい。
また、本品を使用中に発生した事故に対し、本品の動作の有無にかかわらず当社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

⚠注意

●本品は自動車用の後方障害物感知・警報装置です。違う目的で使用すると取り付けた機器の故障やセンサーの誤動作の原因となります。
●本品は１２Ｖ車専用です。２４Ｖ車にはお取り付け出来ません。
また、２４Ｖ/１２Ｖ変換器（ＤＣ－ＤＣ変換器）を使用して取り付けないで下さい。誤動作の原因となります。
●本品を１台の車に、２セット以上取り付けないで下さい。誤動作します。
また、純正のバックセンサー、他社のバックセンサーと併用しないで下さい。誤動作の原因となります。
●電磁式バックホーンやネオン管などの発信機内蔵品を取り付けた車に本品を取り付けないで下さい。誤動作の原因となります。
●センサーを車の前側（フロント）に取り付けないで下さい。エンジンノイズが誤動作の原因となります。
●本品をリアエンジン車※ ミッドシップエンジン車※※ に取り付けないで下さい。
エンジンノイズが誤動作の原因となります。
リアエンジン車※・・・エンジンを車の後部に搭載した車
ミッドシップエンジン車※※・・・エンジンを車の中央部（運転席後方）に搭載した車
●検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業をして下さい。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートし、火災・故障の原因となります。外しかたについては、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で確認して下さい。
●本品の配線接続時は、付属のエレクトロタップのフタを確実にロックして下さい。
エレクトロタップの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし、火災・故障の原因となります。
●センサーコードの切断や延長は行わないで下さい。誤動作の原因となります。
●本品を分解、塗装、改造しないで下さい。また、本品を落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないで下さい。破損、故障の原因となります。
●本品のコントロールユニット、LEDインジケーターは防水仕様ではありません。
必ず、水のかからない場所に設置して下さい。故障の原因となります。
トラック等、コントロールユニットを車室内、トランク内に設置できない車にはお取り付け出来ません。
●本品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。お取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してからご使用下さい。
なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行わないで下さい。思わぬ事故の原因となります。確認は車のエンジンを止め、障害物を車に近づけて確かめて下さい。
●本品の感知・警報範囲や動作の確認を長時間行うとバッテリーの消耗が激しくなります。ご注意下さい。

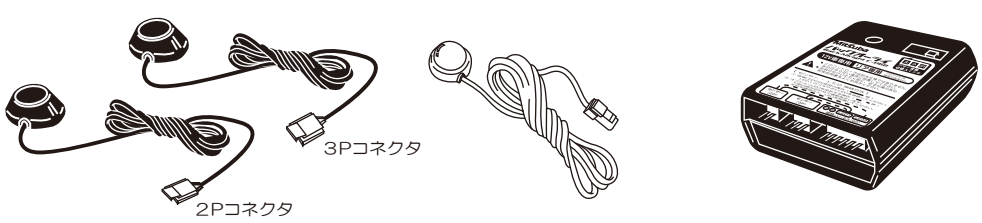
2. 使用上の注意事項

●次のような状態で使用すると誤動作する場合があります。
・ＡＴ車でシフトのＲレンジへの切り替えをすばやく繰り返した場合。
→ ゆっくりと切り替えし直すと正常に戻ります。
・センサーに泥、雪などの異物が付着したり、凍結した場合。
・砂利道、凸凹道、坂道、草むらなどで使用した場合。
・高温（＋７０℃以上）や低温（－２０℃以下）の環境で使用した場合。
・豪雨または、ホコリのひどい風が吹いている場合。
・超音波、無線機の電波、電磁ノイズなどの外来ノイズを受けた場合。
（外来ノイズは、バイク、無線機、発電機などの簡易エンジンや電動モータから発生します。）
●センサーに強い衝撃を与えないで下さい。破損、故障の原因となります。
また、自動洗車機やウォーターガンによる洗車のあとは、センサーの破損、はがれがないか確認し、正常に動作することを確認してからご使用下さい。

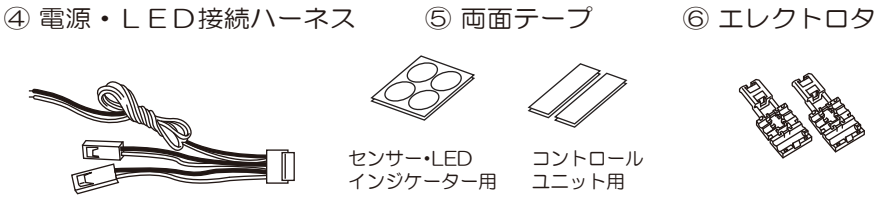
3. パッケージ内容

お取り付け頂く前に、内容をお確かめ下さい。

① センサー　② ＬＥＤインジケーター　③ コントロールユニット



④ 電源・ＬＥＤ接続ハーネス　⑤ 両面テープ　⑥ エレクトロタップ



⑦ 取付・取扱説明書（本書）

4. 仕　様

※商品の仕様および外観は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

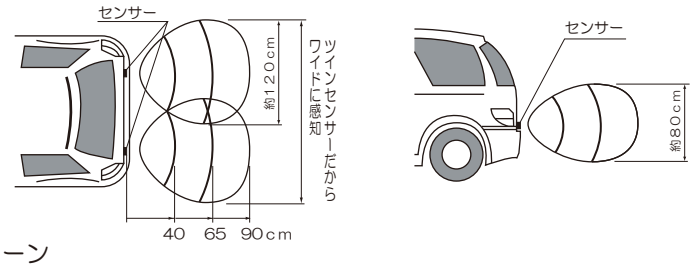
●主な仕様

定格電圧	DC １２V 自動車用	
消費電流	待機時	２０mA以下
	警報時（LED&ブザー作動時）	６０mA以下
使用電圧範囲	DC ９V ～ DC １６V	
使用温度範囲	－２０℃ ～ ７０℃（ただし、センサー部の凍結なきこと。）	
保存温度範囲	－３０℃ ～ ８０℃	

●各部寸法

コントロールユニット	外形寸法:W５８×D７７×H２４ mm
センサー	外形寸法:W３５×D２６×H１４ mm　コード長:約2m
LEDインジケーター	外形寸法:W２４×D２５×H１７ mm　コード長:約3m
電源・LED接続ハーネス	電源コード長:約１m

●センサーの感知範囲（イメージ図）　※センサーの感知範囲は障害物の形や大きさによって変わります。



●警報パターン

センサーと障害物との距離	LEDインジケーター＆ブザーの警報パターン
９０cm～６５cm	ピ・・ピ・・ピ　長い間隔の点滅＆断続音
６５cm～４０cm	ピピピピピ　短い間隔の点滅＆断続音
４０cm～　０cm	ピ——　連続点灯＆連続音

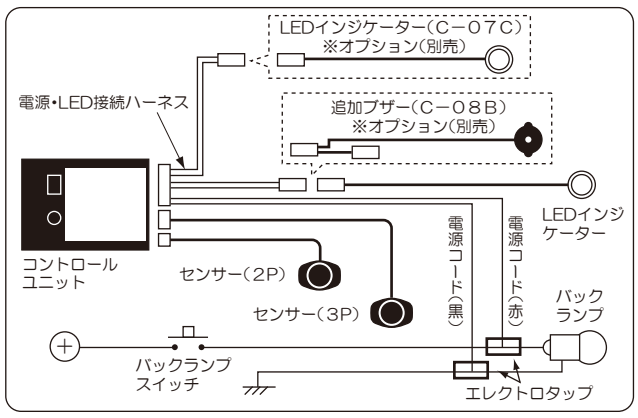
※左右のセンサーの感知距離に差がある場合、より近い方を優先して警報します。
※感知距離は、センサーの中心からの水平方向距離を示します。

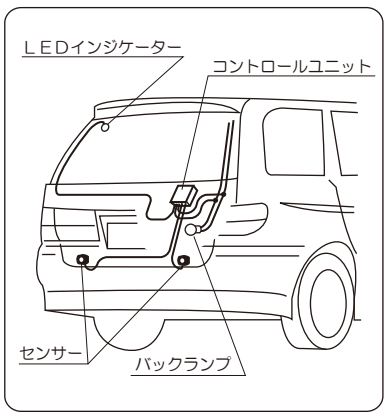
●感知しにくい物（イメージ図）

※障害物に反射してセンサーに戻る超音波の量が少ないと感知しにくくなります。

●オプション（別売）について
・LEDインジケーター（C-07C）／ コード長:約3m
LEDインジケーター（C-07C）を追加することにより、２つのセンサーにそれぞれ連動し、どちらのセンサーが障害物を感知しているかがわかる【左右独立警報】にすることが出来ます。
※LEDインジケーター（C-07C）は、本品に付属されているLEDインジケーターと同一部品です。
※ブザーは感知距離の近い方を優先して警報します。
・追加ブザー（C-08B）／ コード長:約3m
本品のコントロールユニットの設置環境により、標準の警報ブザー音が聞き取りにくい場合に追加接続してご使用下さい。警報音源を任意の位置に設置することが可能となります。
※上記の追加LEDインジケーター（C-07C）との併用は出来ません。ご注意下さい。

5. 配線図（取り付けレイアウト）





6. 取り付け方法

準 備 お取り付け作業を開始する前に下記の工具を用意して下さい。

■ プラスドライバー　■ スパナ　■ プライヤー　■ テスター、または検電ランプ（１２V用）

注意 お取り付け頂く車種によって上記以外の工具が必要となる場合があります。別途ご用意下さい。

⚠注 意
●お取り付けに際し、車体の内張りやカバーを外す場合には、部品を紛失・破損しないように慎重に作業して下さい。内張りやカバーが元に戻らなくなる恐れがあります。

ステップ 1 センサーの仮固定

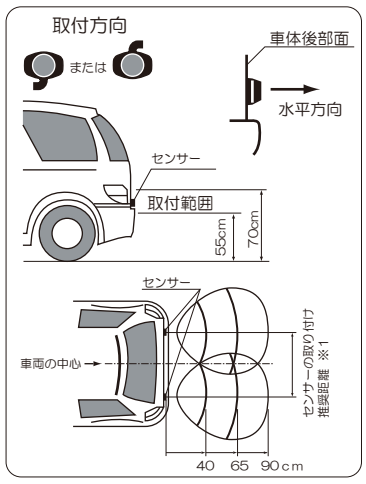
⚠注 意
●センサーコードの切断や延長は行わないで下さい。誤動作の原因となります。
●センサーコードの配線時、コードとコネクタの接続部を引っぱらないで下さい。断線の原因となります。

（1）センサーの取付位置を決めて下さい。

センサーの取付範囲・方向は右図を参考に決定して下さい。

※1：車両の中心を２つのセンサーで約40cmの距離（連続点灯＆連続音）を感知させたい場合のセンサー同士の取り付け間隔は、約65cm～70cmを推奨致します。但し、センサーに対して外側が感知し難くなりますので、動作を確認しながら最終的な取り付け位置を決定して下さい。

注意 地面、背面スペアタイヤ、バンパー等を感知しないように注意して下さい。



（2）センサーを仮固定して下さい。

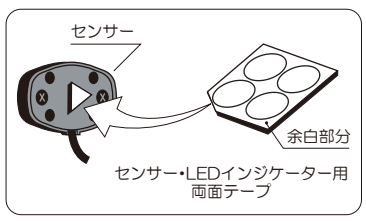
センサー・LEDインジケーター用両面テープの余白部分を利用し、センサーを仮固定して下さい。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いて下さい。

（3）センサーコードを配線して下さい。

センサーコードをトランクルームや車室内に確実に引き込みます。車体の隙間などを利用してコードが垂れ下がらないように配線して下さい。

注意 コード引き込み部から車室内に浸水しないよう注意して下さい。またコードが直接金属に触れる個所はコードの被覆が傷付かないように、テープなどを巻いて十分保護して下さい。



ステップ 2 ＬＥＤインジケーターの取り付け

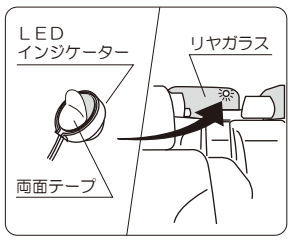
⚠注 意
●ＬＥＤインジケーターは防水仕様ではありません。必ず水のかからない車室内に設置して下さい。水がかかると故障の原因となります。
●ＬＥＤインジケーターコードの配線時、コードとコネクタの接続部を引っぱらないで下さい。断線の原因となります。

（1）ＬＥＤインジケーターを固定して下さい。

注意 ＬＥＤインジケーターは、運転席周辺には設置出来ません。

センサー・LEDインジケーター用 両面テープを使用して、リアガラス周辺の、運転席から見やすい車室内に貼り付けて下さい。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いて下さい。



（2）ＬＥＤインジケーターコードを配線して下さい。

LEDインジケーターコードを窓枠の隙間などを利用して、運転の支障にならないように配線して下さい。

ステップ 3 各コードの接続

⚠注 意
●電源・ＬＥＤ接続ハーネスの接続時、コードとコネクタの接続部を引っぱらないで下さい。断線の原因となります。
●各コネクタの抜き挿しは、必ずコネクタを持って行って下さい。コードを引っぱると断線の原因となります。

（1）電源・ＬＥＤ接続ハーネスを接続して下さい。

電源・ＬＥＤ接続ハーネスの６Ｐコネクタをコントロールユニットの６Ｐカプラへ接続して下さい。

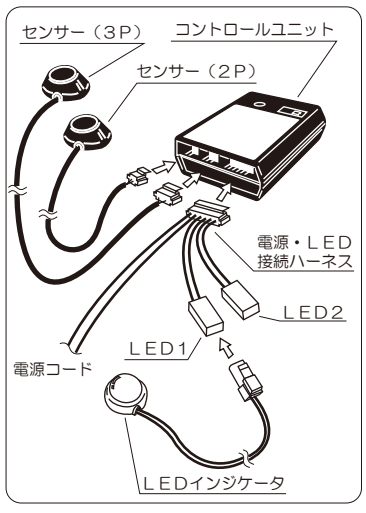
（2）センサーコードを接続して下さい。

センサーコードの２Ｐコネクタ、３Ｐコネクタをコントロールユニットの２Ｐ、３Ｐのカプラへ各々接続して下さい。

（3）ＬＥＤインジケータコードを接続して下さい。

ＬＥＤインジケーターの２Ｐコネクタを電源・ＬＥＤ接続ハーネスの２Ｐコネクタ（ＬＥＤ１）に接続して下さい。
（ LED2のコネクタに接続しても作動します。）

※オプション（別売）の LEDインジケーター（C-07C）をご使用の場合は、下記の組み合わせで連動表示します。センサー取り付けの左右、LEDインジケーター取り付けの左右を確認して接続して下さい。
センサー（3P）←→ LED1
センサー（2P）←→ LED2



ステップ 4 電源コードの接続

⚠注 意
●検電ランプ、テスターなどで配線先を確認する場合を除き、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業を行って下さい。外さないで作業すると、配線がショートし、火災・故障の原因となります。外しかたについては、車両搭載装置に悪影響を与える恐れがありますので、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で確認して下さい。
●電源線接続時は、エレクトロタップのフタを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部が車体の金属部などに接触すると、ショートし、火災・故障の原因となります。

（1）バックランプのソケットを探して下さい。

通常、バックランプの内側位置にあるカバー、内張り等を外すとバックランプのソケットが見えるようになります。

（2）電源コード（赤）の接続先を探して下さい。

バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック（R）の位置にすると電圧が約１２Ｖとなるコードをテスターまたは検電ランプで探して下さい。

（3）電源コード（黒）の接続先を探して下さい。

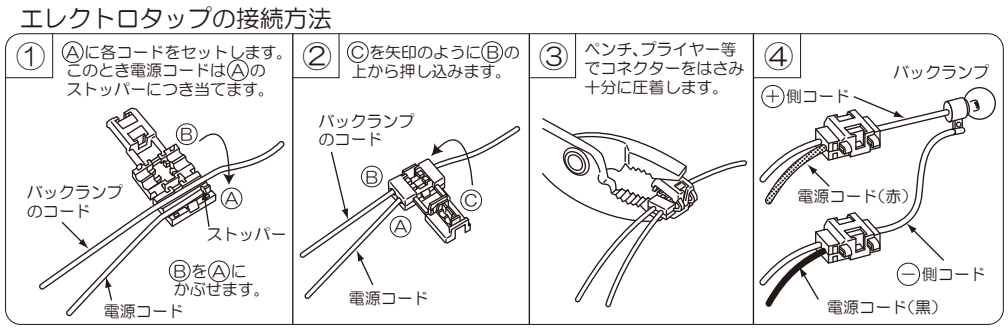
バックランプに接続されているコードで、シフトレバーをバック（R）の位置にしても電圧が０Ｖとなるコードを探して下さい。

注意 電源コード（黒）はボディーアースしても構いません。ただし、塗装されている金属部分への接続や、不確実な接続は動作不良の原因となります。ご注意下さい。

（4）電源コード（赤・黒）をそれぞれエレクトロタップで接続して下さい。

上記（2）で探したコードに電源コード（赤）を、（3）で探したコードに電源コード（黒）を付属のエレクトロタップで確実に接続して下さい。

エレクトロタップの接続方法



ステップ 5 コントロールユニットの取り付け

⚠注 意
●コントロールユニットは防水仕様ではありません。必ず水のかからない場所に設置して下さい。水がかかると故障の原因となります。

（1）コントロールユニットの取付位置を決めて下さい。

注意 高温、多湿にならない場所や、荷物などの積み下ろしの際に邪魔にならない場所を選んで下さい。

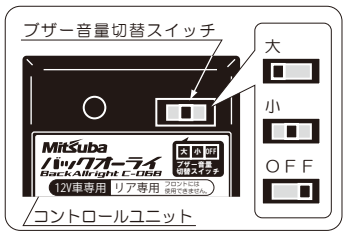
（2）ブザー音量を設定して下さい。

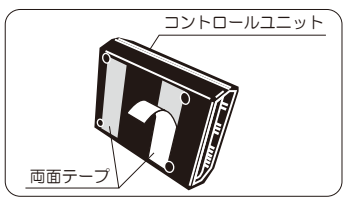
コントロールユニットのブザー音量切替スイッチでブザーの音量を大・小・OFFの３段階で切り替え可能です。お好みの音量に設定して下さい。

（3）コントロールユニットを固定して下さい。

コントロールユニットの裏側に付属の両面テープを貼り付け、しっかり固定して下さい。

注意 貼り付ける部分のゴミ、油分、水分を中性洗剤やきれいな乾いた布で取り除いて下さい。

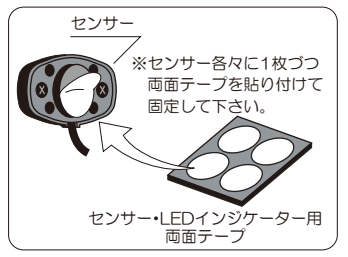




ステップ 6 動作確認・センサーの本固定

⚠注 意
●本品の感知・警報距離は、センサーと障害物の距離です。お取り付け後、必ず感知・警報範囲を確認してから使用して下さい。
なお、感知・警報範囲の確認は、車を動かして行わないで下さい。思わぬ事故の原因となります。確認は車のエンジンを止め、障害物を車に近づけて確かめて下さい。
●本品の感知・警報範囲や動作の確認を長時間行うとバッテリーの消耗が激しくなります。ご注意下さい。

（1）お車のキースイッチをONにして、シフトレバーをバック（R）の位置にして下さい。
（2）約１秒後にブザーとＬＥＤインジケーターが１回作動し、センサーが感知を開始したことをお知らせします。
（3）障害物を車体に近づけ、センサーの感知・警報範囲を確認して下さい。
（4）上記動作に問題ないことを確認の上、付属の両面テープ1枚を貼り付け、センサーをしっかり固定してください。



7. 故障かな？と思ったら

このような時	チェックしてください	処　置
シフトレバーをバックにしても作動しない。	電源コードがはずれていませんか？	確実に接続して下さい。
障害物がないのに警報する。	センサーに泥、雪などが付着していませんか？	センサーの泥、雪などを取り除いて下さい。
	地面、背面スペアタイヤなどを感知していませんか？	センサーの取り付け位置を変更して下さい。
LEDインジケーターが作動しない。	コネクタがはずれていませんか？	確実に接続して下さい。
ブザーが鳴らない。	ブザー音量切替スイッチがOFFになっていませんか？	ブザー音量切替スイッチで大または小に設定して下さい。

8. アフターサービスについて

●使用中に正常に動作しなくなったときは、
まず、本書の『故障かな？と思ったら』を参考に確認して下さい。
『処置』を行っても改善が見られないときは、お買い上げ店、または当社技術サービスにお問い合せ下さい。
●保証をお受けになる場合
お買い上げ店に不具合内容を具体的に提示の上、センサー、LEDインジケーター、コントロールユニットをセットにして、保証書と共にご依頼下さい。なお、保証範囲につきましては、保証書裏面に記載の保証規定によります。
●保証対象外の修理について
保証期間を過ぎた場合や使用上の不注意による事故等、保証の対象にならない場合の修理については、有償となります。保証書裏面に記載の保証規定をご覧下さい。